

与 議 第 5 1 号
平成30年9月27日

与 論 町 長
殿
与論町教育委員会教育長

与論町議会議長

平成29年度与論町各会計決算審査意見の申入れについて

町議会の活動につきましては、かねてから多大な御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、平成30年第3回与論町議会定例会において実施した平成29年度与論町各会計決算審査の結果、町議会としての意見を集約決定しましたので、下記のとおり申し入れます。

つきましては、今後の行財政運営の改善に役立て、決算審査の意義や目的が果たされるよう御配慮ください。

記

町議会としての意見

- 1 国民の義務である納税については、行政一体となって一層の徴収向上に努めること。
- 2 移動観光案内車を有効活用するとともに、今後増加が予想されるインバウンドの受入態勢の整備に努めること。
- 3 今後の多様な観光客のニーズに対応できるよう、島内での重点的観光ポイントの整備や荒天時の滞在プログラム等の構築に努めること。
- 4 島内の主要ポイントにおいては、W i - F i 設備を整備して来島者へのサービス向上に努めること。
- 5 漁港については、大型漁船が安全に航行できるよう調査の上、県と共同して泊地や航路内の浚渫を行うこと。
- 6 近年、道路用地にはギンネムが繁茂して安全通行が危ぶまれている箇所が見受けられるので、早期に対処すること。
- 7 コースタルリゾート斜路に船舶を係留しないよう、看板の設置を含めて指導・啓発を行うこと。
- 8 町内住宅の耐震化対策については、十分な広報や家屋の耐震対策整備の推進に努めること。
- 9 職員不足による福祉サービスの低下にならないよう十分に配慮すること。

- 1 0 医療費軽減の面からも、平素から健康づくり運動の推進に努めること。
- 1 1 今後、農業用廃ビニール等の廃棄物処理については、資金面や維持管理コスト及び農家負担等を十分に研究し、町民にとって最善の方策が講じられるよう努めること。
- 1 2 農林水産業分担金の滞納繰越金や肉用牛導入基金の貸付未収金の徴収に一層努めること。
- 1 3 奄美群島振興交付金については、各自治体が各地域の実態に合わせた自由な裁量で利活用できるような制度となるよう関係機関に強く求めること。
- 1 4 ふるさと納税については、地場産返礼品のメニューを増やすとともに、効果的なパンフレットを作成し有効活用して、納税額の向上に努めること。
- 1 5 野犬の増頭が懸念されるので、県と協力して野犬対策に努めること。
- 1 6 水道事業会計における未収金対策は、給水停止措置も行いつつ滞納金の軽減化対策に一層努めること。
- 1 7 多額の資金投入によって整備された多目的運動広場は、十分な安全管理運営を図り有効活用に努めること。
- 1 8 育英奨学資金については、保護者の意見を聴きながら、入学一時金等としても利用できるなど、有効的な活用が成されるよう規則の見直しを図ること。
- 1 9 外国語教師の増員を図り、児童・生徒の語学力向上に努めること。
- 2 0 公文書管理については、優秀な人材を登用し適切最良の方法で整理して文書・書類の保管管理を行うこと。